

全国税

発行所
東京都千代田区霞ヶ関
財務ビル内(〒100-0013)
全国税労働組合
発行人 岡田 俊明
電話 (03) 3581-3678
FAX (03) 3507-0886
振替口座 00140-2-68514

謹賀新年 今年もよろしくお願ひします



この人と語る

小川清明さん(信濃中野分会)を訪ねて

アマチュア写真家として各種のコンクールで入賞・入選を果たしている小川さんは現在、厳しい病と闘病中です。車椅子に乗ることになっても働き続けたいと、みんなが支え合える温かい職場づくりをめざす小川さんを井ノ上繁利本部教宣部長が長野県飯山市のご自宅を訪ね写真のこと、そして小川さんが直面している健康問題などについてお話を伺いました。

井ノ上 今日(10日)は機関紙の新年号を飾る写真をお借りすること。もう一つは、人事院が分限処分(指針を出し、国税の職場にも分限処分が始め、累積3年蓄積すると辞めてもらう方向になりかねない状況があります。担当の統括は、ホツとしたと言いかねない状況が生まれています。身体だけでなく心の病の人も増えています。今後、休職処分が平気で出されるようになった時に、辛い立場に置かれている人たちが職場や労組が支えることが求められているのに本当に支えられていくかという危惧をもっています。支えるには何が必要かを自身で闘病中の小川さんと語り合いたいと思っています。

なぜ猿の写真か
小川 猿を題材にすることが多いのですが「なぜ猿の写真か?」と問われたなら、「猿の本能的で直裁的な行動を擬人的な愛情として表現したいからだ」と答えています。猿を見つづけていると、時々ハツとするような自分の心の動きに気づかさ

井ノ上 今日(10日)は機関紙の新年号を飾る写真をお借りすること。もう一つは、人事院が分限処分(指針を出し、国税の職場にも分限処分が始め、累積3年蓄積すると辞めてもらう方向になりかねない状況があります。担当の統括は、ホツとしたと言いかねない状況が生まれています。身体だけでなく心の病の人も増えています。今後、休職処分が平気で出されるようになった時に、辛い立場に置かれている人たちが職場や労組が支えることが求められているのに本当に支えられていくかという危惧をもっています。支えるには何が必要かを自身で闘病中の小川さんと語り合いたいと思っています。

井ノ上 今日(10日)は機関紙の新年号を飾る写真をお借りすること。もう一つは、人事院が分限処分(指針を出し、国税の職場にも分限処分が始め、累積3年蓄積すると辞めてもらう方向になりかねない状況があります。担当の統括は、ホツとしたと言いかねない状況が生まれています。身体だけでなく心の病の人も増えています。今後、休職処分が平気で出されるようになった時に、辛い立場に置かれている人たちが職場や労組が支えることが求められているのに本当に支えられていくかという危惧をもっています。支えるには何が必要かを自身で闘病中の小川さんと語り合いたいと思っています。

井ノ上 今日(10日)は機関紙の新年号を飾る写真をお借りすること。もう一つは、人事院が分限処分(指針を出し、国税の職場にも分限処分が始め、累積3年蓄積すると辞めてもらう方向になりかねない状況があります。担当の統括は、ホツとしたと言いかねない状況が生まれています。身体だけでなく心の病の人も増えています。今後、休職処分が平気で出されるようになった時に、辛い立場に置かれている人たちが職場や労組が支えることが求められているのに本当に支えられていくかという危惧をもっています。支えるには何が必要かを自身で闘病中の小川さんと語り合いたいと思っています。

言われました。この結果を淡々と受け止めることが大切ですね。

署長には、11月に報告し、日をおかず法人の仲間には自分の思いを伝えました。それは、まず勤めを続けたい。感染するようなものではないなど病状への正確な理解をして欲しいこと。税理士さんなどには自分から話したいこと。それらが廻らなくなったら病状が進行していることなので遠慮無く指摘して欲しいなどを伝えました。法人の仲間にはさりげなくも温かい配慮をしてもらって感謝しています。いま、全職員にも話をさせて欲しいと申し入れているところです。

井ノ上 今日(10日)は機関紙の新年号に使用する写真を選びながら小川さんにインタビューする井ノ上教宣部長。



上段写真・長野県山ノ内町地獄谷野猿公園。撮影・小川清明。本部機関紙の新年号に使用する写真を選びながら小川さんにインタビューする井ノ上教宣部長。

井ノ上 今日(10日)は機関紙の新年号に使用する写真を選びながら小川さんにインタビューする井ノ上教宣部長。

憲法9条が未来をひらく

九条は戦争ふせぐ最良の方法

人間には残虐な面があることはたしかですが、言葉をもち、その言葉で気持ちや考え方を交換し合う能力があります。むだな争いはやめて、なかよく生きることが出来るはず。ちかごろ、この第九条の中身が古いという人たちがいます。「平和主義」という考え方は古いでしょうか。問題が起こっても、戦争をせず、話し合いを重ねて解決していく。その考え方が古くなったとは、私にはけっして思えません。むしろ、このやり方はこれからの人類にとっての課題ですから、第九条は、新しいものだといっている。日本は正しいことを、ほかの国より先に行っているのです。「平和主義」という考え方は、人類にとっての理想的な未来を先取りしたものだといえます。その考え方が戦争をふせぐ最良の方法だと注目している人は、外国にもたくさんいます。第九条は、世界の人のあこがれでもあるわけですから、なんとしても、その精神をつらぬいていきたいものです。

(『井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法』 講談社刊 より抜粋)



井上ひさし
劇作家

九条こそが「国際貢献」



奥平康弘
憲法研究者・東京大学名誉教授



小田 実
作家

正念場に来ている



澤地久枝
作家

志と勇気を



鶴見俊輔
哲学者

原爆の苦しみから生まれた九条

メッセージを寄せいただいた方々は、「九条の会」結成の呼びかけ人の一員として、憲法九条を守るため、一人ひとりができる、あらゆる努力を、いまず始めることを訴えています。いま全国各地、各分野で5000を超える「九条の会」がつくられ、「九条改憲は許さない！」の声が大きく広がっています。私たち全国税も職場・地域で「九条の会」の取り組みを進めています。

日本国憲法 第九条【戦争の放棄】

- 1 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- 2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

武力で平和は築けません

私たちは、日本を「戦争する国」に

変える9条改憲に反対します。

「夜回り先生」として子どもたちの悩みに身を賭して立ち向かっている水谷さんの言葉は重い。いま国税の職場をおおっている閉塞感、ゆとりの無さ、自己肯定感を持ってない仕事、パワハラ上司の存在など、職場にある歪んだ大人社会の反映が子どもたちに深く影を落としていることが分かる。子どもたちの未来のためにも職場を変えていこう。

「いいんだよ」と言えるゆとりを
元定時制高校教師・夜回り先生 水谷 修さん



「いじめ」。哀しいことだ。比較的元気な子は夜の世界に向かい、優しい子は不登校になる。もっと優しい子は「親が悲しむから」と無理を重ねて学校に通うが、イライラで眠れず、夜独りで苦しんでいる。そうして「夜眠れない子どもたち」の間でリストカットなどの自傷行為や薬物依存が急速に広がっている。いまやリストカットのない中学校は存在しない。

子どもたちを褒めよう
愛国心をもちたせることで教育を再生するといふ。そんなものは無理な話だ。教育は信じ合つことからしか始まらない。子どもは不完全なもの。失敗して当たり前。いいところを見ず、不完全なところばかり目をつけて追い詰めていないか。

子どもをもっと褒めてほしい。愛情をいっぱい受けて育つた子は自分に自信をもてるので、非行にかかわっても立ち直りが早いし、夜の世界のばかな大人のうそにもまだ

みずたに・おさむ
一九五六年生まれ。横

浜市内の定時制高校で教えるかたわら、夜の繁華街を巡回。薬物や裏社会の魔の手から少年たちを守る活動を続け、いつしか「夜回り先生」と呼ばれる。二〇〇四年、教諭を辞職。薬物の危険を訴え全国を駆ける。『夜回り先生』など著書多数。

絵 Wbee 5D3